

平成 20 年度 第 1 回 備前市公共交通会議 議事概要

1. 日 時：平成 20 年 6 月 27 日(火) 13 時 30 分～14 時 30 分

2. 場 所：備前市市民センター 4 階 講習室

3. 出席者：(敬称略)

(委 員)西岡 憲康、森山 純一、大和 史明、香西 正巳、村合 英二、  
有本 和彦、浦上 時夫、瀧川 桂三、井川 勲、井上 邦允、三村 渚、  
山本 啓之、澤邊 和美  
以上 13 名

(専門員)中山 和樹、石畑 浩徳、永幡 節夫、福寄 康明

(事務局)企画課、教育委員会職員 4 名

欠席者：(敬称略)

(委 員)山本 健二、宇野 泰正、更谷 暢久

傍聴人：なし

4. 議 事

委嘱状交付

出席者紹介

会長、副会長の選出

幹事の選任

協議事項

(1) 備前市公共交通会議について(説明協議)

(2) 備前市内の公共交通体系について(説明協議)

(3) 市町村運営有償運送(市営バス)更新登録について(提案協議)

その他

5. 合意事項

市町村運営有償運送(市営バス)更新登録について合意

## 6.【会議要旨】

### 協議事項

#### (1) 備前市公共交通会議について(説明協議)

##### 《事務局からの説明》

- 備前市公共交通会議設置要綱第10条の(事務局)について、本年4月1日の機構改革にともない、「事務局は、総務部企画課に置く」と改正。
- 備前市公共交通会議について、その設置経緯、役割等について簡単に説明。
- 平成18年10月の道路運送の改正により、市町村の直営又は委託により運行してきたバスの許認可等にあたっては、地域の需要に即した運行形態等について協議する「地域公共交通会議」の設置が必要となったことから、同年10月に設置。

(目的)(協議事項)(公共交通会議の構成員)について要綱に基づき説明。

委員の任期は2年間で、備前地域の実情に即した、輸送サービスの実現に向け必要な事項について協議する。地域のバス交通などは、地域で考え、作り、守り、育てるということから、地域内で新たに路線を増やす、運賃を変える、その態様を変える、大幅にダイヤを変える様な場合は、この会議に諮り協議を調える必要がある。そのメリットとしては、運輸局での審査期日の短縮、運賃については届出となる。またその内容は公開する。

- 昨年度までの公共交通会議の経緯は平成18年に設置され、19年度までに計4回の会議を開催。運賃、路線の新設及び延長、路線増便、減便、ダイヤ改正、停留所の設置、箇所変更等利用者の要望等も取り入れながら行っている。

《質問・意見》特になし

### 協議事項

#### (2) 備前市内の公共交通体系について(説明協議)

##### 《事務局からの説明》

- 市内バス路線図で備前市内の公共交通体系について簡単に説明。  
市内には大きく分けて備前バスの路線が6路線、宇野バスの路線が1路線、片鉄沿線バスが1路線、市営バスが通学バスを含めて4路線ある。

備前バスの路線は、市が運行補助を行っている路線で、

- ・八塔寺から吉永病院間の「八塔寺線」(平日5.5便、土曜2便)
- ・吉永病院から福石上間の「福石線」(平日3便)
- ・片上から吉永病院間の「吉永線」(平日3.5便、土曜1便)
- ・備前病院、片上から備前片上、伊里中、伊里小、蕃山、八木山、三石間の「三石線」  
経由地が複雑となっているため、便数としての把握が難しいが、  
(平日5便、土曜・休日2~3便)
- ・片上から久々井方面、青石、長船駅間の「東鶴山線」(平日6便、土曜・休日2便)
- ・片上から福浦峠間の「日生線」(平日16便 土曜・休日7)

宇野バス路線は

- ・片上から岡山間(平日16便、土曜・休日17便)

片鉄沿線バス路線は

- ・片上、柵原間(平日7便)

市営バスは

- ・東畑、飯掛下間の「三国東西線」(平日5便、土曜2.5便)
- ・牛中、吉永小学校経由、吉永病院間の「和意谷線」(平日5便、土曜2.5便)

- ・佐山、備前中学校間の通学バス「備前中学校線」（平日 登校時 2 便、下校時 2 便）
  - ・久々井、伊部小学校間の通学バス「伊部小学校線」（平日 登校時 1 便、下校時 2 便）
  - 以上 12 のバス路線がある。路線名、区分については、事務局で説明の為に便宜上設定しているため、実際の路線名、路線数とは異なる。
  - 各路線の利用状況については昨年 12 月までのデータを参考に本年 2 月の公共交通会議で報告しているが、簡単に説明。
  - 現在、市の補助路線である備前バス路線においては年間約 220,000 人の方がバスを利用しており、そのうち約 48%の約 105,000 人がスクール利用となっている。平日約 900 人程度が利用。
  - 市営バス路線では年間約 43,400 人の利用があり、約 95%の 41,200 人がスクール利用。
  - 市補助路線と市営バスをあわせて考えますと、年間約 263,000 人の利用でそのうち約半数の 146,000 人程度がスクール利用。
  - 片上鉄道沿線路線につきましては、片上から柵原間で年間約 49,000 人の利用。備前市内の利用については調査中。
  - 宇野バス路線、の利用者数については把握していないが、備前バスと宇野バスの乗り継ぎをする利用者は、前回の調査では概ね 3 人に 1 人。
  - 運賃について、備前バス路線は、200 円均一料金で小人は半額。市営バス路線は 100 円均一料金。片鉄沿線バス、宇野バスは、距離制運賃で運行。
- 《質問・意見》特になし

#### 協議事項

#### (3) 市町村運営有償運送（市営バス）更新登録について（提案協議）

##### 《事務局からの説明》

- 市営バスの登録の有効期限が平成 20 年 9 月 30 日まで（H18 から 2 年間）となっており道路運送法第 79 条 6 の規定による更新登録を要することとなっており、当該有償運送の必要性について、地域公共交通会議において協議を調える必要がある。
- 市営バスは、吉永地域の三国東西線と和意谷線の 2 路線と備前地域の通学路線 2 路線ある。
- 三国東西線と和意谷線は、基本的にはスクールバスで一般客が混乗できる路線。
- 和意谷線は牛中から和意谷を経由して吉永病院までの 13.2Km。平日 5 便土曜日 2.5 便を運行。
- 三国東西線は東畑、滝谷から大股を経由して飯掛下までの 13.2Kmで、平日往復 5 便、土曜日 2.5 便を運行。
- 運行については市営バス運行事業に関する条例及び施行規則で定めております。運賃は 100 円均一料金。ただしスクール利用者については平成 21 年 3 月末まで料金特例により無料。運行時刻については、施行規則で定めている。
- 通学バス路線の 2 路線のうち、備前中学校便については、佐山から沖を経て備前中学校までの 16.2Kmで登校時 2 便、下校時 2 便。伊部小学校便については、久々井から伊部小学校までの 6.3Kmで登校時 1 便、下校時 2 便を運行。
- 運行については備前市通学バスに関する条例及び施行規則に定めている。運賃は、小学 3 年以上の伊部小学校児童が、月額 1,310 円、備前中学校の生徒が月額 3,670 円。ただし、平成 21 年 3 月 31 日まで全額免除。
- これらの市営バスの運行については学生、高齢者、マイカーを持たない人の通学・通院・買物等のための生活交通手段として必要な路線である。

- 平成 19 年度の路線別年間の利用者人数については、和意谷線が、約 1,900 人(スクール 1,000 人・一般 900 人) 三国東西線が約 7,100 人(スクール 6,000 人・一般 1,100 人) 備前中学校便については約 23,000 人(生徒 57 人) 伊部小学校便については約 11,000 人(生徒 28 人)の利用があり、合計約 43,000 人の方にご利用いただいております。
- 以上 4 路線については、市営バスの登録の有効期限が本年の 9 月 30 日までとなっており、今後 2 年間現状のとおり運行し継続するものとして更新登録をいたしたく協議を調べていただきたい。
- なお、登録期間内に登録事項に変更生じた場合は、登録事項の変更届を行うこととしている。

《質問・意見》

質問は特になし 承認する。

会 長 1 点、非公式であるが、飯掛地区に和気町のデマンドをお願いできないかということ  
を和気の町長にお尋ねしていたが、地元のタクシー業者等の権利の問題もあり、内部で  
協議をしたところ、和意谷線を現在の牛中から飯掛まで延ばす案を検討している。おそ  
らく 2~3 分の距離なので、調整がつけばその方向で対応していきたい。いかがでしょう  
か。

委 員 本数も増えて効率がよくなる。道もよい。

委 員 吉永の委員です。是非みなさんにご理解していただき、そのようにしてもらいたいと  
思う。

会 長 それでは、条例改正も必要となりますが、早めにそのような方向で対応したいと思う。

その他

- 事務局より 1 件説明。

路線バス日生線の寒河車庫前から福浦峠の中間地点への停留所の設置について、寒河車庫か  
ら福浦峠( 終点 ) 1 km 余りの坂道となっており地域住民の方から中間地点へのバス停設置  
の要望を受けて今回、日生運輸さんより提案されております。( 日生運輸説明員の補足説明 )

司 会 このことについて、ご質問・ご意見はございますか？

委 員 道路巾員は十分あるのか。あまり無いように思うが。交通量もけっこう多い。

委 員 地域から強い要望がある。場所としてはこのあたりしかないと思うが、幅員が十分で  
あるとはいえない。縁石がとれればいいのですが、その点については県の方の事情もある  
と思いますので今後協議を進めていきたいと思う。

委 員 使用する人は年寄りが多いので安全面に気をつけて、箇所の設定をお願いします。

司 会 この点について専門員のご意見は。

専門員 日生運輸さんから話があり現場確認をしました。直線で見通しがよいのでこのあたりし  
かないようだ。ただ、道路幅員は片側 2.7m でバスを駐車するとバスの巾が 2.5m なの  
でほとんど片側をふさぐ。その先日生方面に急な下り坂で若干見通しが悪いところがあ  
る。警察側としては、左側の縁石を取り除いていただければ、左側に車を寄せて停める  
ことができるので、他の車への交通妨害も少ないのではないかと思います。警察としては縁  
石の撤去していただければ許可の方向で考えている。

司 会 さきほどの件で、県維持管理課の方の縁石の撤去について見通しはいかがでしょう。

専門員 本来であれば、歩道と車道はきちっと分けていくことが歩行者の安全上は最もよい。  
歩道を使われるのは基本的には地元の方と考えている。地元の要望であるということも  
考慮しながら縁石の件については、言い方にもよりますが、必要最小限ということで検

討したい。ただ、バスに乗降する方、待たれる方の、運行面での対応も考えていただきたい。詳細については申請等の手続きをお願いしたい。

司 会 ほかにはございませんか。

それでは、停留所の件につきましては、今後、警察署、道路管理者である県、等関係機関との調整を図りながら、バス運行事業者である日生運輸の方で設置へ向け手続きを進めていただくこととなりますのでよろしくおねがいいたします。

専門員 先ほど会長が提案された和意谷線の牛中から飯掛下の延長の件は決定ですか？それともこれから細かい面手続きをしていくということですか。

会 長 正式には条例改正がいる。運転手の勤務体制も含めて可能かどうか細かい部分は詰めていく必要がある。今回は考え方を示した。

和気町のデマンドを延ばすことに関しては、いろんな面で問題があるということ。

委 員 運賃について、ガソリンも値上がりしている、料金が上がるのではないかと声を聞いているがどうか。

日生運輸 事業者としては現在のところ考えてはいないが、原油の値段は想像以上に値上がりしている。料金についても、公共交通会議で皆さんのご意見を賜りながら決めていくことになる。

司 会 ほかにはありますか。

事務局 事務局から1点。公共交通機関利用促進にかかる市の取り組みについて説明。

平成20年5月から通年で第1水曜日には、バスやJR等の公共交通機関を利用して通勤してもらうよう職員に対し協力を呼びかけている。5月の集計で約650件の公共交通機関利用報告あり。これにより、電車やバスなどの関係公共交通機関の増便や存続、併せてこれらの取り組みにより、地球温暖化防止対策につながればと考えている。

広報6月号において市民へむけてのPR記事を掲載。

今回の会議において公共交通機関をご利用の上、ご出席いただきました委員におかれましては大変ありがとうございました。今後ご協力の程よろしくおねがいいたします。

副会長 閉会のあいさつ